



# 採点システムの導入で業務の効率化!

岡山県マスコット「むむっち」

県教育委員会では、令和4年3月に「**令和4～6年度 学校における働き方改革 重点取組※**」を策定しました。教職員の心身の健康が教育の質の向上につながることから、**月45時間超**の教職員**ゼロ**を目指して月当たりの時間外在校等時間を3年間で**15%以上**削減することを目標としています。また、今年1年間では、月80時間超の教職員ゼロの実現を目指しています。

これらの実現に向け、重点取組の「業務の効率化と環境整備」の具体的な内容として、「**新しい取組（採点システム導入等）の推進**」を掲げています。

※詳しくはこちらのQRコードから確認できます。



## Pick Up!

### 県立玉島高校の実践



岡山県マスコット「むむっち」

県立玉島高校では、昨年度、採点システムを導入し、その効果と課題の検証を行いました。



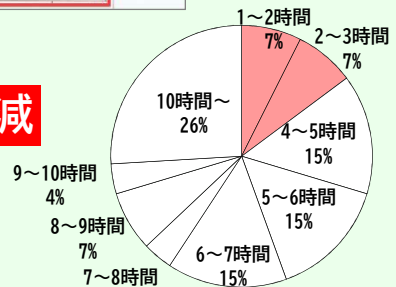
### ■実践の流れ

6月	職員会議で採点システムの紹介
7月	期末考査で紙と並行採点での試験運用
8月	課題考査で試験運用
10月	採点システム使用方法研修
10月	中間考査で本格運用
3月	効果と課題の検証と次年度使用の決定



### ■平均採点時間

- ・従来どおり紙で採点した場合 **7.8時間**
  - ・採点システムを使用した場合 **4.2時間**
- 約54%に減**



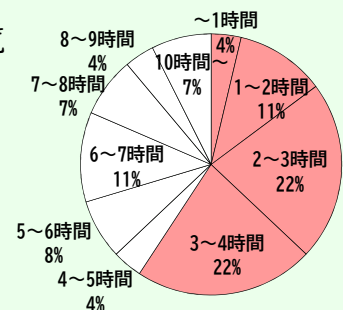
### ■4時間以内に採点が終わった教員の割合

- ・従来どおり紙で採点した場合 **14%**
- ・採点システムを使用した場合 **59%**

従来どおり紙で採点した場合

### ■効果と課題の検証

- 記号問題の自動採点、得点の自動計算、生徒の解答の一覧表示による比較などを活用し、**採点時間を短縮**できる。
- 設問ごとの正答率など試験の分析を簡単に行うことができ、生徒へのフィードバックにも活用できる。
- 特に採点システム導入の効果の高かった教科として、**国語、英語**が挙げられた。
- ▲解答用紙の取込、採点した解答用紙の出力、部分点のメモ・コメント等の入力に手間がかかることがある。
- ▲印刷用紙やインク代などの**費用が増える**。



採点システムを使用した場合

**検証の結果、県立玉島高校では、今年度も採点システムを活用することとなりました。**

### お知らせ

県教育委員会では、採点システム活用の推進に向け、**今年度、県立高校、県立中学校、県立中等教育学校を対象に採点システム研究校を募集**しています。応募の締切は、5月30日(月)です。詳しくは、教評第127号「令和4年度採点システム研究校の募集について」をご確認ください。



岡山県マスコット「うらっち」

# 校務のICT化の推進で効率化！

「令和4～6年度 学校における働き方改革 重点取組」では、「校務のICT化の推進」を掲げています。県内の学校でも様々な取組が進められていますが、今回は、教職員用サイトの活用で、業務の効率化を図っている学校を紹介します。

## Pick Up!

### 県立高梁城南高校の実践



岡山県マスコット「もっち」

高梁城南高校では、毎年度、複数のOJTチームがテーマを定め、研究に取り組んでおり、昨年度は「サイト作成班」が、教職員用サイトの作成、提案を行い、教務課での協議、職員会議での協議を経て、本格的に導入されました。



### ■ 教職員用サイト「Jona Ban」の特徴

- 朝礼連絡、職員会議資料、eラーニングへのログインなど必要な情報を集約している。
- 職員室以外の場所からでもいつでも情報を確認したり入力したりすることができる。
- Googleサイトを利用して作成しており、誰でも簡単に編集でき、活用しながら更新していくことができる。
- 職員室の大型ディスプレイにも表示し、職員室では、端末を開かなくても確認することができる。



この他にも、高梁城南高校では、生徒の身体測定の際に、生徒情報をQRコード化し、QRコードリーダーを用いたデジタル入力などにも取り組んでいます。

「Jona Ban」を参考に作成した教職員用サイトのサンプルサイトをこちらのQRコードからご確認くださいませ。



### 「StuDX Style」も参考に！

「働き方改革通信No.37」でも紹介しましたが、文部科学省では、GIGAスクール構想により整備された新たな機器等を、文房具や教具と同様、日常的に活用していくイメージを学校現場の先生方にもっていただけるよう、先進的に実践を進めてきた自治体・学校の実践事例等について情報発信していくサイト「StuDX Style」を開設しています。

「StuDX Style」のページはこちらのQRコードから確認できます。



例えば、次の内容の動画などが掲載されています。校務のICT化の推進に向けて、参考にしてください。

- ① ICTを活用した働き方改革の取組事例【小学校編】 (4分33秒)
- ② ICTを活用した働き方改革の取組事例【中学校編】 (4分21秒)
- ③ 1人1台を活用した1日の流れ 総集編 (5分37秒)

①の動画はこちら



②の動画はこちら



③の動画はこちら





岡山県マスコット「ももっち」

# 欠席連絡のデジタル化で効率化！

「令和4～6年度 学校における働き方改革 重点取組」では、「**校務のICT化の推進**」を掲げています。県内の学校でも様々な取組が進められていますが、今回は、欠席連絡をデジタル化することで、業務の効率化を図っている学校を紹介します。

## Pick Up!

### 早島町立早島中学校の実践



岡山県マスコット「うらっち」

早島中学校では、昨年度の2学期から保護者からの欠席や遅刻の連絡について、従来の電話連絡に加え、スマートフォン等からGoogleフォームを活用して連絡できるよう、欠席連絡のデジタル化を図りました。

○令和3年度、ICT活用に関する研究の一つとして、情報担当者が提案し、導入に至った。

○保護者は、電話での連絡とフォームでの連絡を自由に選ぶことができるが、導入後は、多くの保護者がフォームでの連絡を活用している。

○留守番電話を設定している時間帯でもフォームでの連絡の場合入力可能であり、**保護者は時間を気にせず簡単に連絡**することができる。

○教員にとっては、**朝の慌ただしい時間帯での電話対応に係る負担が大幅に削減**されている。また、伝達ミス等も防ぐことができる。

○フォームでの連絡の内容は、**スプレッドシートで全教職員が共有**し、どこでも確認することができる。(職員朝礼の連絡シートにリンクを掲示)

欠席連絡のデジタル化については、各学校で利用している**メール配信システムや保護者連絡アプリ等の「欠席・遅刻連絡機能」**を活用することも考えられます。

### 「全国の学校における働き方改革事例集」も参考に！

また、「働き方改革通信No.38」でも紹介しましたが、令和4年2月に文部科学省から「改訂版 全国の学校における働き方改革事例集」が公表されました。

「改訂版 全国の学校における働き方改革事例集」のページは右のQRコードから確認できます。



この事例集の中でも、「欠席連絡のデジタル化」について取り上げられています。(209～221ページ) また、「雛形はこちら」をクリックすると、Googleフォームのファイル等をダウンロードすることができます。





岡山県マスコット「うらっち」

# 下校時間を早めるための工夫！

今回は、児童生徒にゆとりを生み出すとともに、教職員の働き方改革を進めることを目的とした下校時間を早める取組等について紹介します。

## Pick Up!

### 下呂市立中学校6校の実践

**取組** 岐阜県下呂市では、校長会での話し合いにより、今年度から市内の全中学校が**部活動の時間を含め、「午後4時半下校」**としています。その実現に向けては、次のような取組が行われました。

- ・市内全中学校で午後4時半下校に統一
- ・学校ごとに日課表の見直し
- ・余剰時間の適正化
- ・学校行事の精選  
(運動会や卒業式の準備時間等を含む)
- ・委員会活動の削減
- ・週の掃除回数の削減
- ・バスの運行時間の変更(市教委対応)

令和4年度 下呂市立下呂中学校 日課表

月	火	水	木	金
朝活		8:05~ 8:20		
1限		8:30~ 9:20		
2限		9:30~10:20		
3限		10:30~11:20		
4限		11:30~12:20		
給食		12:20~12:55		
昼休み		12:55~13:10		
5限		13:15~14:05		
6限	終活 掃除	6限 14:15 ~15:05	6限 14:15 ~15:05	終活 掃除
14:15 ~15:05	部活動 14:55 ~16:30	終活 15:35 ~16:25	終活 15:35 ~16:30	部活動 14:55 ~16:30
終活 掃除		7限	部活動	
		15:35 ~16:25	15:35 ~16:30	
		最終下校 16:45		

※ 教職員の勤務時間は8:00~16:30です。

**効果** 下校時間を早めたことで、教員からは次のような声が多くあげられたようです。

- ・心にゆとりが生まれた。
- ・授業準備の時間が増えた。
- ・以前より家族と過ごす時間が増えた。

また、下校時間を早めたことで、生徒にも放課後の自由な時間が増えました。生徒が部活動でもの足りなさを感じることを心配していましたが、想像以上に生徒からも賛成の声が多くあったようです。

**課題** 各学校では、生徒に「新たに生まれた時間をどう使えば将来の自分のためになるのか」を考えさせていくための検討が始まっています。

※ 下呂市の取組は、NHKのクローズアップ現代で取り上げられており、[こちら](#)から資料を確認することができます。



### 他にも様々な取組が行われています！

県内管理職の先生方にご協力いただき、10月に実施した働き方改革に関する取組状況調査等において、県内でも次のような取組がみられました。

- ・時程を工夫し、6校時授業で15:15下校としているため、放課後にゆとりをもって仕事ができている。(小学校)
- ・今年度の1年生から部活動を週3回に変更したが、部活動への加入率が上がった。(中学校)
- ・体育大会(運動会)を全校での実施から学年ごとでの実施に変更し、体育の授業参観として実施することで、準備・当日運営・片付け等の負担を軽減した。(特別支援学校)

また、神奈川県横浜市や東京都目黒区では、一部の小学校で40分授業・午前5時間の時間割に取り組んでいます。

- ・横浜市の小学校に関連するNHKの資料は[こちら](#)
- ・目黒区の小学校に関連する文部科学省の資料(28枚中25枚目)は[こちら](#)

